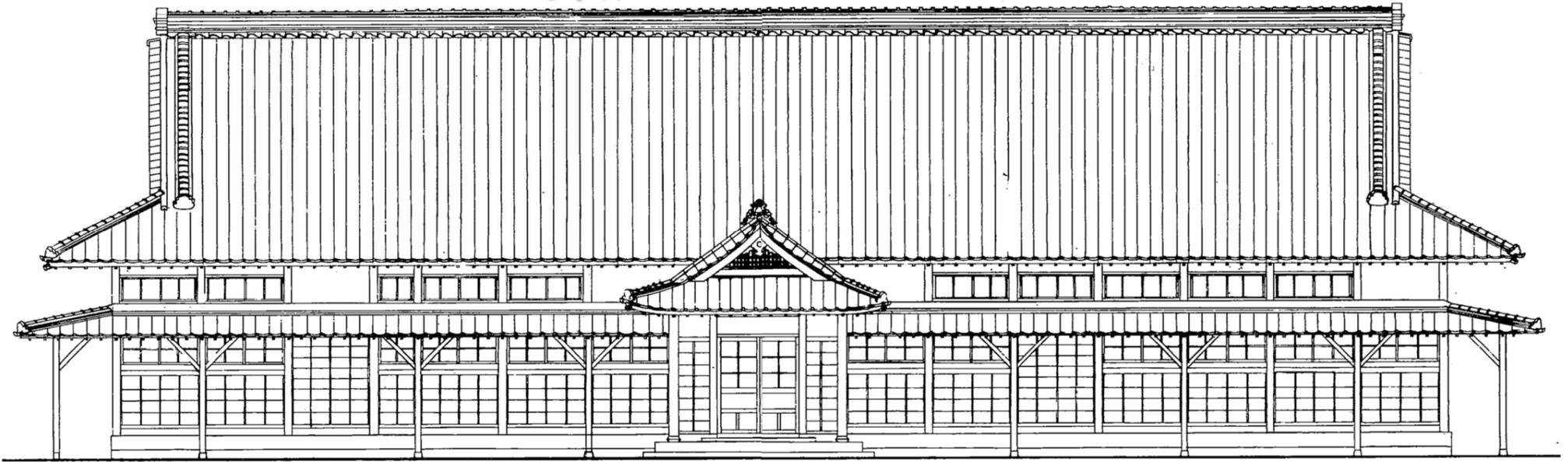


ちょっと昔の生活 見よまいか 大野市民俗資料館



おおのしみんぞくしりょうかん 大野市民俗資料館ってどんなところ？

みんぞくしりょうかん やくわり 民俗資料館の役割

民俗資料は日々の中で使っていたもので、ちょっと昔の生活を教えてください。

当館では、時代の変化によって失われていく民俗資料を後世に伝えるために、収集・保存・展示をしています。



わふう ようふう 和風？洋風？

大きな屋根、軒下や正面入口上部の装飾など、一見して和風な印象を与える外観です。

しかし、中に入ると、高い天井、廊下の両脇に配置された部屋、出入口に設けられたドア、大きなガラス窓など、室内が明るい、洋風な空間となっています。

天井が張ってあるため見ることはできませんが、天井裏は歪みに強い洋風の木の組み方（キングポストラス）で造られています。

このように和洋が混在する理由は、次のように考えられます。

- ・和風な外観は、社会的に力をもつ社寺の要素を取り入れることで、新たに生まれた裁判所という存在に権威をもたせるため。
- ・洋風な内部空間や小屋組は、西洋の技術や制度を積極的に取り入れていた明治という時代性の現れ。

めいじじだい さいばんしょ 実は…明治時代の裁判所

大野市民俗資料館として使われている建物は、明治22年（1889）に建てられた「大野治安裁判所」（翌年「大野区裁判所」に改称）の一部です。昭和42年（1967）まで裁判所として使われていました。翌年、資料館として利用するために、現在地へ移築されました。

明治期の裁判所建物では県内で唯一現存するものであり、大野市の指定文化財です。



外から見るとお寺みたい
 やけど、中は洋風なんやわ

でこんぼ
 （土人形）



100年以上も前の建物
 なんやってかー!?



大野市民俗資料館

〒912-0087
 福井県大野市城町2-13
 電話 0779-66-0238

利用案内

入館料金
 大人 300 円、団体 150 円（30 人以上）
 中学生以下 無料
 障がい者 150 円、介助者 1 人まで 150 円
 年間パスポート 1,000 円

開館時間
 午前 9 時～午後 4 時（日曜・祝日は午後 5 時まで）
 休館日
 12 月 27 日～1 月 4 日

てんじみ 展示を見てみよう!

おじいちゃんやおばあちゃんがこどもだった昭和30~40年代までに大野市内で使われていた民具や、当時撮影された大野の写真を展示しています。

どの部屋から見ようか



電気の無かった頃は、どんな風に暮らしていたのかな?

どんな道具を使って料理をしていたのかな?

昔の人はどんな服や、靴を身に着けていたのかな?

民俗資料館の建物の歴史や特徴をもっと詳しく知ろう!



昭和をイメージした部屋で、すごろく、こま回し、おてだまなど、昔からある遊びをしてみよう。

火事が起きた時、どんな道具を使って火を消していたのかな?

「でこんぼ」とはなんだろう? どんなことを勉強していたのかな?

大野の昔の街並みを見てみよう!

どんな仕事をしていたのかな?

さが 探してみよう!

9つの部屋に隠されたひらがなを探そう! どんな言葉ができるかな?

全部見つけたやろか?

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨

気づいたこと、気になったことをメモしよっさ!

メモ

